



発行:2019年5月1日

発行所
社会福祉法人 札幌親会
札幌市社会自立センター

ドリーム新聞

TEL 011-786-7881 FAX 011-786-7884 HP アドレス <http://www.satsuoyakai.or.jp>



ワクワクボーリング大会

令和元年始まりました。

記事の内容

- 近況報告(各図書館より)
澄川・東札幌
元町・新琴似
- ワクワクナイト
本体・代替
澄川・元町
東札幌・新琴似
- 研修報告
吉田勝利
倉橋 守
- 異動職員紹介
- 編集後記

令和元年第1号のドリーム新聞です。
新しい時代が始まりました。急に平成が遠のいていく気がして少し寂しさを感じると共に、昭和生まれの私は、あっという間の時代の移り変わりを今更ながら実感する次第です。

来年は東京オリンピックです。長く続いた我が国の景気停滞に明るい未来が開かれていくことを期待し楽しみにしたいものです。さて、ひと昔前の東京オリンピックの頃は小学2年生でした。当時のテレビは高価でしたが、各教室に1台ずつありました。側が大きい割にはサイズは多分19インチくらいのブラウン管で、スイッチを引っ張ってから画面が出てくるまで少し待たなければなりません。まだまだ白黒の時代でしたが、テレビから流れた重量挙げ三宅選手の金メダルは私の眼には本当に金色に見え、君が代と一緒に映った日の丸は黒ではなく赤だったと今でも目に焼き付いています。

今はハイテクで便利な時代です。出来るのであれば、メダルに届かなかった人達の汗と努力がオーラのような輝きとして映るといいですね。

所長 佐藤 典彦

澄川図書館から

澄川図書館従業員全員、今日も元気です!みなさん風邪などひかず、毎日図書館の清掃作業を行っています。仕事内容は図書館の室内・外まわりの清掃が中心ですが、書籍の一冊一冊にも丁寧に拭いてきれいにします。

この冬は、降雪量が少なく、澄川図書館の除雪作業はとても楽でした。また、敷地の庭が広い為、雪を捨てる場所が多く、除雪機でどんどん飛ばすことができます。今年は暖かい日が続き、去年よりずっと雪の溶けるのが早いようでした。そして、雪解けを待って庭作業が始まります。

澄川図書館の庭には、ハマナスが多く植えられており、気を付けないで触れると小さな棘が刺さりますが、花を見て、香りを嗅いで、実の成長をじっくりと楽しめます。

裏庭にはレンギョウの木があり、春の始めに黄色い小さな花を細い枝々にいっぱい咲かせます。

他にも楓や小真弓があります。心和む空間があります。なによりも、桜の木が数本あり、従業員みんな満開の花見を楽しみにしています。

この職場での経験はまだ浅い私ですが、図書館の利用者が快適に過ごせるよう、頑張ります。

澄川図書館 高橋 隆治



休憩中のおやつタイム

東札幌図書館から

今年は季節的に暖かい日もあれば寒い日もあって気温の定まらない感じが続きましたが、東札幌図書館従業員の皆さんは毎日変わりなく図書館清掃に励み、来館者の方や図書館職員の方、近隣の方からも「ご苦労様です。」「毎日、頑張っているね。」と有難い声掛けをして頂いています。

従業員の皆さんが日々作業を頑張っている中での楽しみは、やっぱりお昼ご飯です。図書館開館に合わせて、仕事では掃き掃除をしたり雑巾がけをしたりトイレ掃除をしたりと身体を思う存分動かしていますので、昼食の時間には皆さんのお腹もペコペコ状態です。

午前中の作業が終わって休憩室に入り、お弁当の準備をして「今日のメニューは何かな?」と嬉しそうにお弁当箱の蓋を開け、お母さんやお父さんの手作りお弁当を食べる方、出勤時に自分好みのお弁当を購入して来る方など、皆さんで思いのメニューを食して、午前中の疲れを癒し午後からの作業にも力を蓄えています。

リラックスして食べるお昼ご飯は格別に美味しい様子です!!

皆さん良い表情で本当に幸せそうに食べています。どんな時もやはり食が一番ですね!!

東札幌図書館 米田 元恵



昼食後のひと時

元町図書館から

元町図書館へ赴任して早くも一年が経過しました。異業種からの転職だったこともあり、慣れない仕事にかなり不安でした。失敗もたくさんありましたが、一緒にお仕事している皆さんに助けをもらいながら、何とかを乗り切る事が出来ました。

従業員さんは皆さんベテランで、わからない事を教えてもらい、時には的確なアドバイスをくれたりと、とても心強い仲間達です。休憩時間の楽しい会話にその日の疲れも飛んでいきます。

冬の除雪は大変でしたが、皆で出来る外作業はとても楽しいです。元町図書館の玄関前は、なだらかなスロープとなっていますが、その為に滑って転んでしまいそうになります。従業員さんも一人滑って尻餅をついてしまい通院後はしばらくまともに歩けませんでした。

そういうこともあり玄関前の氷割りや砂掃きなどの作業は欠かせません。これが結構たいへんな仕事になります。



なぜか男性は緊張してます。?

もうすぐ春だなあ、と思うと何だかウキウキします。元町図書館には立派な桜の木があるので、今年の春も楽しみです。支援員としてはまだまだ至らぬ所も多い私ですが、皆さんが楽しくお仕事出来るように全力でサポートしていく所存です。これからもよろしくお願い致します。

元町図書館 林 久美子

新琴似図書館から

季節も冬から春へと、移り変わりを感ぜられるようになり、「冬からやっと脱出だね。」と利用者の皆さんの明るい声が響きます。

今年の冬は北風が多く吹き、北区にある新琴似図書館ではその影響を直に受けました。天気予報を信じ出勤したら、駐車場に吹き溜まりが出来ていて大変なことも度々ありました。又、連日の除雪作業や除雪している後から後から降り積もる雪に閉口したこともありました。



ワックス掛けは任せてね!

しかし、利用者の皆さんは開館に間に合うよう作業を進めてくれます。とても頼もしい存在です。私も真摯に仕事をする姿勢に感心させられる一人ですが、その仕事ぶりを近隣の方々が見ていて「ご苦労様。」「大変だね。」「手伝うかい。」と声掛けをして下さったり、何も言わず行動で示して下さいたりと地域の方々との関わりを実感するのもこの季節です。施設外就労の大きな意味を成していると感じています。

これからも作業は匆々続きますが、図書館を心地よく快適に使って頂くため力を合わせ頑張っていきたいと思えます。

新琴似図書館 佐藤 和子

本体&代替

☆☆☆ 昼間でもワクワクナイト春! 開催!

3月2日土曜日 wakuwaku ナイト春を実施しました。

まずはオリンピックボウルへ行き、ボウリングを行いました。ボウリング終了後はアサヒビール園へ行き、お腹いっぱい成吉思汗を食べました。ボウリング大会は何日も前から楽しみにしていて、皆さん気合十分に挑んでいました。

気持ちよく運動した後の焼肉は最高においしかったです。デザートもたくさん食べ、満足そうにしていました。仕事の時とは違う表情も見られ、とても盛り上がり、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

～ボウリング結果発表～

1位	三浦 博和さん	1G→124点	2G→132点	トータル	256点
2位	東 光男さん	1G→102点	2G→131点	トータル	233点
3位	池田 裕明さん	1G→68点	2G→134点	トータル	202点



澄川・元町図書館



3月1日(金)

アフターファイブの楽しみはやっぱり居酒屋でクーと一杯に限ります。我ら澄川&元町メンバーは札幌駅周辺の居酒屋で、しゃぶしゃぶ温野菜の食べ放題で満喫しました。「もうお腹いっぱいではないわ」と言っているにもかかわらず箸は止まりませんでした。



ワクワクナイト春! 図書館メンバー! おたのしみ

東札幌・新琴似図書館



3月2日(土)

東札幌&新琴似図書館メンバーは7名でアットホームな会食をしました。場所は串鳥札幌駅前北口店で【串鳥特製鶏ちゃんこ鍋コースとおにぎり1個】120分飲み放題ですが、ほとんどソフトドリンク派です。寡黙な方が多いのですが、時に賑やかに話が弾み楽しいひと時でした。

研修報告

去る2月18日～19日の2日間、新宿パークタワーホールにて第7回全国生産活動・就労支援部会職員研修会に参加してきました。

その中で、鼎談で話された、大分県、ソレイユ 花宮良治氏の工場無き福祉工場というA型事業所の取り組みを紹介したいと思います。H5年、市内のアパートの管理会社より、清掃でのクレームが多いことから、清掃の業務の依頼があり、内容を検討し授産メンバーで行う事となる。職員1名・利用者3～4名で1日アパート1棟の清掃を実施。試行錯誤を繰り返していく中で、2年間の実績と仕事内容を評価され、管理物件の50件を委託したいとの打診から、授産の仕組みでは限界を感じたため、H8年福祉工場（定員20名）を設立、工場を持たず工場での作業ではない福祉工場が誕生しました。今現在、定員40名（現員44名）で、H29年度では、平均賃金97,264円（最低賃金64,265円、最高賃金128,777円）と、順調に伸びています。この背景には、効率よく仕事をするための工夫（道具の調整）や業務マニュアルの作成・業務評価表を使用しての各自のレベルの把握に努め研修会を実施するなど、色々と考えて行っているようです。

行っていることは違いますが、同じA型事業所の取り組みであり、自分たちの仕事に何か生かされるよう考えていきたいと思いました。

吉田 勝利

職員研修



エルダー研修会

我が国における少子高齢化については、テレビや新聞のニュースで様々な社会問題が生じていることはご存知かと思います。企業においても例外ではありません。若者が少ない、新入社員が少ない、という構図は職場において相互に世代格差や人間関係での悩みも多いということです。より良い環境を求める若者は早期に離職してしまいます。職場定着率が上がらないという状況は企業側においても大きなダメージです。

そこで国は、新入社員の不安や悩みを取り除くため、メンター・エルダー制度の導入を呼び掛けています。メンターは新入社員の身近な存在としてのサポート、エルダーは実務的な指導とメンターも含めたサポートで、新入社員のスキル以外に内面も含めた育成サポートをする役割の人を指します。札幌会でもその制度を取り入れることが決まりました。

メンター、エルダーの語源は、メンターはギリシャ神話に登場する指導者、エルダーは高齢者、年長者などを指し、一般的には50代の年齢層を指す言葉に用いているようです。法律で示された制度ではないため、企業によってはブラザー制度やシスター制度などと名称も異なり、その内容はといえば部外秘とされているため他社の情報は分かりません。

昔から慣習としてあるものですが、より現代に、より札幌会にマッチしたシステムにして新入社員を迎い入れ、メンター、エルダーが共に成長していくことを目的にしています。詳しくは部外秘のためお話しできませんが、次の時代を担う若者のために、そして、それが利用者のためにつながるよう取り組みたいと思います。

倉橋 守

自立センター ➡ 札北荘(入所担当)

4月より、札北荘に異動となりました。森岡大輔です。自立センターに勤めてから4年半…長いようであっという間でした。

福祉の仕事は初めてでしたが楽しく仕事をする事が出来ました。

事業所は変わりますが、これからも利用者に喜ばれる支援をしていきたいと思っています。短い間でしたが、お世話になりました。



異動職員紹介

札北荘(通所担当) ➡ 自立センター

始めまして!私は柴田明典と申します。札北荘で13年間お世話になり、この4月より自立センターへ異動となりました。

玄関マット洗いを中心に図書館清掃も覚えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。



編集後記

久しぶりのドリーム新聞となりました。なかなか編集する時間が取れず、遅くなってしまいました。

今回は、令和元年第一号ということで、今年度も自立センターの活動の様子や仕事ぶりをお知らせしていきたいと思っています。仕事は大変ですが健康で楽しい一年にしていきたいと思います。

(編集責任者～佐藤所長)